



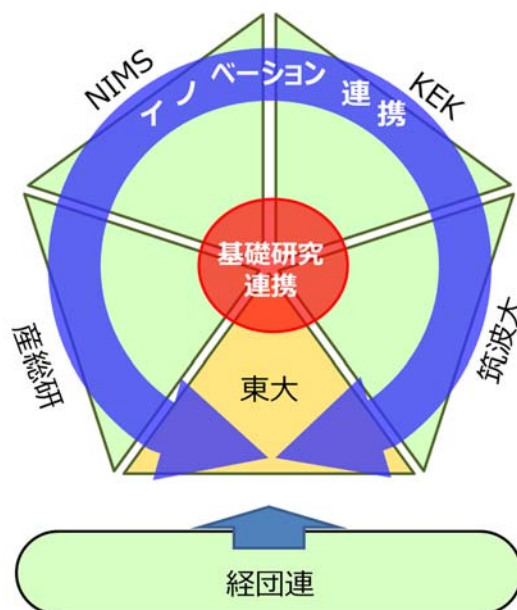
本件配布先: 産総研(つくば)→筑波研究学園都市記者会
産総研(東京)→経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ、文部科学記者会、科学記者会

新たに東京大学がつくばイノベーションアリーナナノテクノロジー拠点(TIA-nano)に 参加

平成 27 年 12 月 18 日
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
国立大学法人 東京大学
国立研究開発法人 物質・材料研究機構
国立大学法人 筑波大学
大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

つくばイノベーションアリーナナノテクノロジー拠点(TIA-nano)では、つくばの研究機関と産業界とが一体となってナノテクノロジー領域におけるオープンイノベーションの実践に取り組んでいます。

このたび、TIA-nano の中核機関である国立研究開発法人 産業技術総合研究所(産総研)、国立研究開発法人 物質・材料研究機構(NIMS)、国立大学法人 筑波大学(筑波大)、大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構(KEK)に、新たに国立大学法人 東京大学(東大)が中核機関として参加することになりました。今後はこれら 5 機関を中核機関として世界的なナノテクノロジー領域の研究・教育拠点を形成し、我が国のイノベーション創出に貢献していきます。



東大を加えた新たなTIA-nanoの構成

1. つくばイノベーションアリーナナノテクノロジー拠点(TIA-nano)とは

TIA-nano は、産総研、NIMS、筑波大、KEK の 4 機関が協力して構築したオープンイノベーションの場です。一般社団法人 日本経済団体連合会(経団連)も運営に加わり、内閣府、文部科学省、経済産業省の支援を得て、ナノテクノロジー分野の研究、人材育成を推進しています。

2009 年の設立以来、33 件の国家プロジェクトが TIA-nano の場で実施され、200 社の企業、1000 名を超える企業研究者がそれらプロジェクトに参画してきました。大型の研究施設と企業が利用しやすい制度(出向制度、契約制度、設備稼働体制)を整備し、多くの企業と深く連携して研究開発を推進してきました。その中では、長く研究開発が行われてきた SiC パワーエレクトロニクスやカーボンナノチューブがようやく実用化に至り、企業が事業に着手しました。サマースクールを中心とする人材育成では、全国の学生、若手研究者がつくばに集える支援制度を整え、知的刺激の高い機会を提供してきました。

2. 東大の参加

このたび、TIA-nano 活動のさらなる推進のため、新たに東大が中核機関として参加することになりました。

東大は、本郷と駒場に柏のキャンパスを加えた三極構造構想の下、東大ビジョン 2020 を掲げ、学術成果を踏まえた価値創造、産学官民連携の協働拠点形成、これを担う人材の育成を目指しています。

基礎研究においては、東大と TIA-nano 中核 4 機関とは既に個別に強い連携をしてきましたが、今後は、社会から大いに期待される「イノベーション創出」、「知の協創」に向けて、5 機関が一体となって、オープンイノベーション拠点の拡充、産業界との連携研究に取り組んでいきます。

東大の TIA-nano への参加は、国や企業が求めるイノベーション創出の拠点、それを担うイノベーション人材育成の拠点としての TIA-nano の機能を格段に強化するものです。その地の利から、東大が提案する「つくば-柏-本郷イノベーションコリドー構想」の実現へとつながります。つくばエクスプレス(TX)沿線を「知の協創プラットフォーム」として有機的に結び付けることで、学術成果をイノベーションに変えて産業界まで届ける仕組みと、大学で育った学生を産業界で活躍できる人材へと育てていく連続的な仕組みができます。

東大にとって、TIA-nano へ参加するメリットは、自ら保有する膨大な技術と教育した学生とを、TIA-nano で構築されている企業連携システムを活用して、産業界へ届けられることであり、TIA-nano にとってのメリットは、オープンイノベーションの場として提供できる技術ラインナップが充実し、企業にとっての魅力が大幅に拡大することです。

3. 今後の活動

現在、東大を加えた中核 5 機関により、連携研究テーマを検討しており、今後、随時企業への参加を呼びかけていきます。具体的には、ナノバイオ計測や大規模集積システム設計などの検討が進んでいます。

2016 年 4 月より、共同の運営組織体を形成し、5 機関で資金を出し合って先導的共同研究を行っていきます。また、東大と筑波大の教育プログラムを基に、イノベーション人材育成を開始します。その後は、5 機関の多様な技術を融合させて、ナノバイオや IoT などの大型研究プロジェクトの立案、企業連携、国際的な研究連携を企画・推進し、世界的なイノベーション拠点へと成長させていきます。

4. お問い合わせ先:

<TIA-nano に関すること>

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 つくばイノベーションアリーナ推進センター

岩田 普(いわた ひろし)

〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1 中央第 1

Tel: 029-862-6123 Fax: 029-849-1020 E-mail: tia-nano_info@tia-nano.jp

国立大学法人 東京大学 副学長
武田 展雄(たけだ のぶお)
〒277-8561 千葉県柏市柏の葉 5-1-5
Tel/Fax: 04-7136-5521 E-mail: takeda@smart.k.u-tokyo.ac.jp

国立研究開発法人 物質・材料研究機構 つくばイノベーションアリーナ推進室
菱田 俊一(ひした しゅんいち)
〒305-0047 茨城県つくば市千現 1-2-1
Tel: 029-860-4955 Fax: 029-859-2049 E-mail: tia-office@nims.go.jp

国立大学法人 筑波大学 つくばイノベーションアリーナ推進室
野家 彰(のいえ あきら)
〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1
Tel: 029-859-1467 Fax: 029-859-1693 E-mail: tia-suishin@pas.tsukuba.ac.jp

大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 つくばイノベーションアリーナ推進室
池田 進(いけだ すずむ)
〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
Tel: 029-879-6253 Fax: 029-879-6229 E-mail: tia@ml.post.kek.jp

<取材に関する窓口>

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 企画本部 報道室
〒305-8560 茨城県つくば市梅園 1-1-1 中央第1
Tel: 029-862-6216 Fax: 029-862-6212 E-mail: press-ml@aist.go.jp

【用語の説明】

◆つくば-柏-本郷イノベーションコリドー構想

140年の伝統を誇る「東大本郷キャンパス」と新しい学融合を掲げる「東大柏キャンパス」との連携を、つくばエクスプレス(TX)のターミナルである「つくば」まで延伸させて、学術、技術、人材が活発に行き交う「知の協創プラットフォーム」を創設しようとする東大提案の構想。



東大本郷キャンパス、東大柏キャンパスとつくばとの位置関係